



2026年 2月12日
第149号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreuyokohama1.jp/>



横浜地本「沖縄平和研修2026」開催

1月14日～16日で横浜地本「沖縄平和研修2026」を開催しました。現在の沖縄と過去の沖縄をテーマとして、現地に立ち、戦争の本質と命の尊さ平和の大事さを学び感じてきました。



(1日目・現在の沖縄 辺野古新基地建設の進捗、嘉手納基地の現実を学びました)



(2~3日目・過去の沖縄 ひめゆりの塔、系数アブチラガマ、韓国人慰霊塔、平和の礎、魂魄の塔、荒崎海岸、対馬丸記念館に赴きました)

研修参加者からは、「戦後80年と言うが基地問題により戦争が終わっていない」「歴史から目を背けたくなるが、本気で向き合った」「以前来た時は悲しいが強かったが、今回は誰のせいでこうなったのかという怒りが強い。」「疎開も今後の兵力を確保するために子どもたちを逃がすという目的があったのではないか」「ガイドを自分たちでやって自分の言葉で伝えることで強化される」「基地が出来ることきれいな海が汚され、自らに危険が及ぶと考えると反対運動も理解できる」「報道とかも限られるので現実を伝えていく側になることが必要」「沖縄に住んでいる人が戦争の危機感を抱いていると知ることができた」



「なぜ太平洋戦争が始まったのか、そこからなぜ沖縄が戦地となったのかという流れが理解できて良かった」「日頃の平和運動や声をあげること、選挙の重要性を再認識した」など感想が述べられました。

**今の沖縄、過去の沖縄から戦争の本質を感じ、
戦争の足音が一步ずつ近づく中で戦争反対を訴え続けます！**